市政報告

発行者
小川　敏男
水田　豊
府中市出口町1076-4
TEL　41-7894

市民の声が届かない

12月議会の課題は「巨額の公費で負の遺産の清算を図る桜が丘団地の責任」と「北市民病院と農協病院を統合して寺岡病院へ譲渡する問題」でした。桜が丘団地問題は市が貸している7億6000万円について債権放棄する。病院問題では「2病院は今のまま残すと言いながら『機能分担』して寺岡病院は高度で専門的な医療、2病院は日常的な医療にすることは結局2病院の縮小案だ」という質問に「部分で見れば縮小もある。寺岡病院を含めた全体で考えること」と2病院縮小の方向を明らかにしました。

12月12日　福山にて湯崎広島県知事とともに

新年あけましておめでとうございます。

また、日頃のご支援に感謝申し上げます。

さて今年4月には市議会議員の選挙があります。この間、無我夢中ですごし、気がつけば4年たっていたというのが正直な感想です。新人ゆえのいたらなさもあったと思います。指摘、要望等遠慮なくご連絡いただければと思います。

そして今、2期目も引き続き議員の仕事をさせていただきたいと思っております。4年の経験を活かして、がんばって参りますのでよろしくお願い申し上げます。

府中市政は課題山積です。増え続ける借金、いつのまにか寺岡記念病院への経営譲渡に化けた医療体制の問題。そして売れない桜が丘団地問題などなど。

議会ではこうした問題を真剣に話し合わねばなりませんが、今の府中市議会は過半数をにぎる平成クラブが伊藤市長を支えており、ろくな議論もしないまま市長の提案する議案を全て通しています。

同時に行なわれる市長選挙で官僚上がり現市長から新市長に『政権交代』をし、地元のことは地元が決めるあたり前の市政にしなければなりません。情報公開と説明責任を果たす府中市政にするためがんばります。重ねてのご支援をよろしくお願い申し上げます。

水田　豊

合意なき医療体制の変更は許されない

中間答申の示す方向を明確に説明を！

９月３日の健康づくり審議会答申に引き続き、11月19日には府中の医療提供体制（中間報告）が示されました。府中北市民病院の財政健全化に端を発した問題がいつのまにか府中市の医療体制の再編になっています。

住民不在で進行する計画

問題なのは地域住民の命と健康を守る医療体制を変えるという大問題にもかかわらず、審議会委員と議会にだけ情報が提供され、地域住民には何の説明もないことです。

住民説明会の開催は不可欠

府中市は、ただちに中間報告がもたらす再編の具体的な形を地域住民に説明しなければなりません。府中北市民病院は、「病院の役割分担と連携」の美名の下、現在の救急医療体制の廃止やベッド数の削減をほのめかしています。事実、12月議会では「多少の縮小があっても病院存続のためにご理解を」と市長が発言しています。ＪＡ府中総合病院も縮小される心配が市民にあります。

「まだ決まっていない」では説明にならない

議員全員協議会でも細かな点を質問すると市長は「まだ何も決まっていない」だの、「これから決めていく」などの答弁を繰り返していますが、これでは説明になりません。この答申にしたがったら現在の病院はどうなるのか明確に示すことが「説明」の中味です。それを抜きにして住民の理解が得られるはずがありません。

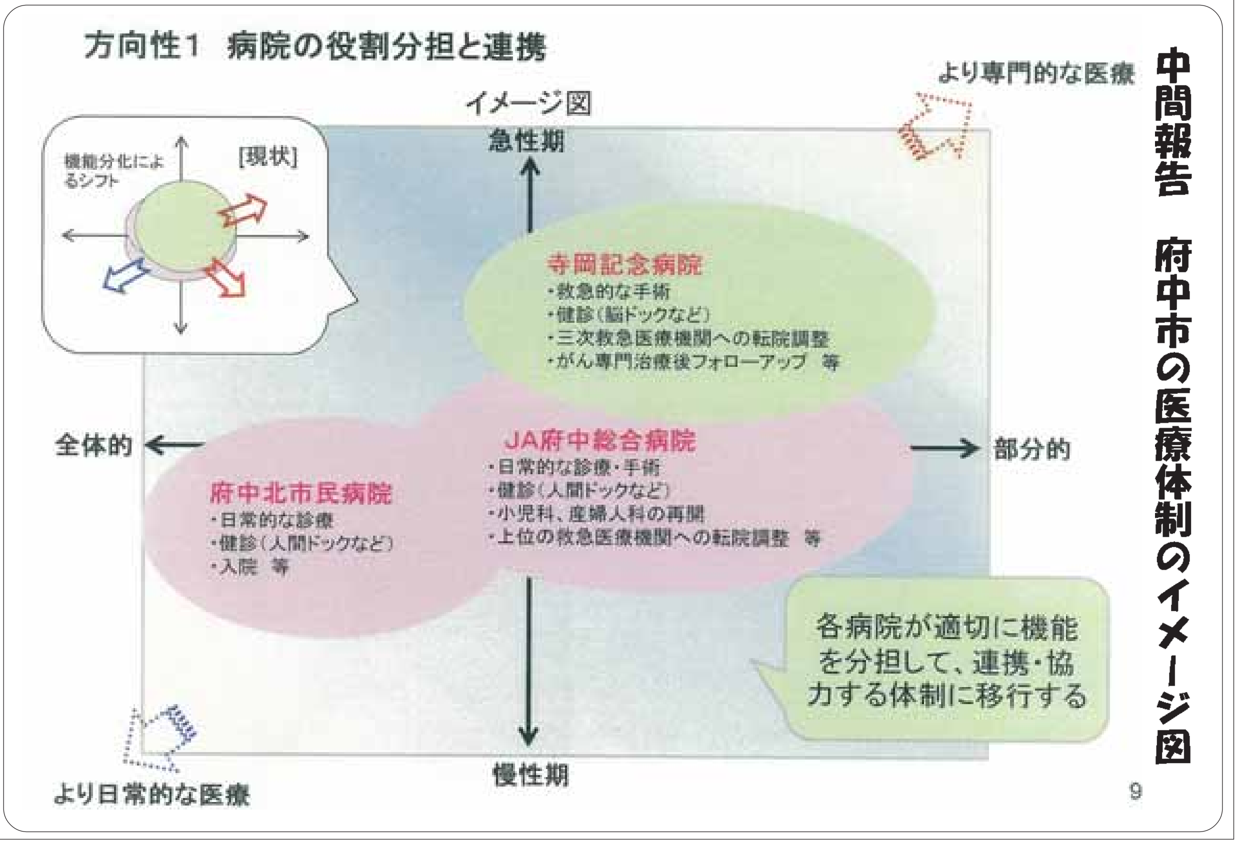
医療人材センターで本当に医師が確保できるのかも不透明なままです。何のための医療再編計画なのか疑問が解けません。

なぜ寺岡記念病院なのか

それにしてもなぜ寺岡記念病院がこの府中市の医療提供体制に不可欠な存在として位置づけられているのでしょうか。

健康地域づくり審議会の会長は寺岡記念病院の寺岡暉理事長その人であり、会長の立場で府中市の医療提供体制に参画する答申を出すのはいかがなものかと議会で質問しましたが、納得のいく答弁は得られませんでした。

中間報告　府中市の医療体制のイメージ図



府中市制始まって以来 4年連続赤字

2008（H20）年度決算

歳入189億8982万円
歳出185億 819万円
差引 4億8162万円
基金取崩額5億9031万円
実質 △1億 868万円

監査委員の指摘

①財政は依然と硬直化し基金が少ない。（基金とは家庭で言う貯金です）

②製造業が大規模な打撃をうけ法人税が減収し財政を硬直化させる。

③起債制限比率（財政構造が健全であるかどうかの指標の一つで、借金が適正かどうかの目安。全国平均は11％です）が13・2から13・5へ悪化している。

と指摘されています。

指摘されている借金は414億円と巨額な上に、さらに開発公社分23億5124万円と桜が丘団地分（保留地管理法人）25億3000万円の合計48億8124万円が別にあります。

視点

問われている少子高齢化対策と産業再生

4月の市長・市議同時選挙で何が問われているかと聞かれれば「あらゆるものが問われている」と言わなければならない。それほど市政の直面する課題は山積している。

財政破綻、人口激減、産業衰退、少子高齢化が加速する中で府中の将来像をどう考えるのかが問われている。私たちは市の現状を明確に認識して政策を争わなければならない。

伊藤市政の正体は、情報非公開、住民不在、議会の多数を頼りに徹底した独断専行の市政運営と合併特例債をフル動員し、福祉サービスを削減し、ハコモノ中心の建設投資型の財政運営である。

住民説明も不十分なまま地域から保育所、学校が次々に消えた。保育所通園や通学に子どもや保護者の負担は計り知れない。若者の地域離れが始まったところもある。教育の体制が少人数学級に移行する今、統合による40人学級へと逆行。保育・教育の環境・条件は大きく後退した。ごみ有料化は住民無視の根源であろう。社協が扱う福祉機器貸し出しも全て有料化など市民生活を直撃した。

「美食か施設整備か」と択一を迫り効率化をターゲットにハコモノ建設を今も続けている。市民生活のセイフティーネットを削減し、合併特例債を使っての不要不急のハコモノ建設。その結果が市民一人100万円を超える借金となった。これに桜が丘団地が加わり市の財政は実質「破綻」しているのが現状である。

いま府中に必要な政策は、少子高齢化対策と産業の再生である。そのためには市民参加の市政を実現し、安心して子育て・教育ができ、地域で老後の生活ができるかである。それには雇用の確保が欠かせない。かつて県外へ求人活動を展開した往時の府中の活力はどこにあったのか総括が欠かせない。幸いに府中の産業界には、技術力、情報力、市場力がまだある。産官民が一体となって府中再生に総力を挙げるときである。

府中の将来のために、市民のエネルギーを引き出し、市民の生気を回復する、そのための市長・市議同時選挙としなければならない。

指摘を生かせ新年度予算

一昨年の予算特別委員会で伊藤市長は「投資的経費（ハコモノ建設）を生み出すためにはいかに経常的な経費（市民サービス）を削るかだ」と主張しています。つまり「市民サービスを切り捨て→財源を浮かし→ハコモノをつくる」と言うことです。そうではなくて「ハコモノをつくるから→赤字になり→市民サービス切り捨て」になっています。

箱物建設行政ではなく施設や道路の補修や修繕で市内の業者に仕事をしてもらうことや、市民サービス充実の予算に切り替えることが必要です。

桜が丘団地の坪単価が迷走しています。
現在の価格17万8660円を、11万5500円へ見直し、さらに10万8900円へ見直した。毎年30区画の販売で10年で完売するという計画です。
もともとの坪単価は約18万円ですが、特典を全部使うと坪12万円になるということでしたが見直しで特典はなくなりました。12月議会前の説明の時、「購入希望の需要調査を行なったのか」と質問すると「していない」と言う。
坪単価の見直しは府中市が桜が丘団地販売法人に貸した7億6000万円を

○18万、11万そして10万円へ○

返してもらわなくていいと債権放棄し、その金が元手で坪単価の見直しが行なわれたものです。
「坪12万円は他と競争力を競えるもの」と理由を説明しています。それならあしな台団地の坪7万円や本山町で売り出しているミニ団地の4万円に対抗できるのかと聞きたい。
市民は「空き地のままではなく完全に売ってしまうことが大事。それで赤字が出るのはしょうがない」と言われている。市民の声に答えた単価にならなくては市民は振り向きません。

求めていることしてちょうだい

府中市のJA府中総合病院と北市民病院を統合して、新市町の寺岡病院へ経営譲渡する計画が強引に進められています。
理由は2病院とも経営状況が悪いためとなっています。
これを聞いて多くの市民は「病院を商売のように赤字、黒字で判断していいのか」と言われています。
行政の役割は市民の生活や健康を守ることです。
「誰も要望もしていない東小学校や広谷小学校をなくして、50億もかけて小・中学校を建てるより、みんなが求めている（JA府中総合病院の）産婦人科や小児科の医師確保に市はもっと支援すべきだ」という市民の声に市長は耳を傾けるべきです。

閑古鳥が鳴いている

久佐町にあるパークゴルフ場が昼からガラ空きの状況と聞く。パークゴルフはもともと誰でもできる適度な運動であることと、芝のグランドが足腰に負担がかからないうえに、打球のコントロールなどで頭も使うことから高齢者や障害者には適したスポーツと言われています。
料金は大人1000円、障害者800円、年間券は9000円です。不人気の原因は他の施設と比べて料金が高く、年間利用券も土、日、祝日が使えないことなどです。場所が府中市の中でも交通の便が悪い所だけに他施設並みに料金を下げたり、年間券も土、日、祝日が使えるようにすることや、障害者の利用は府中市の他の施設のように使用料を免除することが必要です。
このことを12月議会で質問すると、「利用者の皆さんからの『現行の1ラウンド1000円は高い。』特に年会員の皆さんからの『1日2ラウンドまでという規制は無しにしてほしい。』との要望を受け、近隣の施設の調査結果を基に、1ラウンド制を1日単位に変更し、昨年度から適用しています。年会員利用者へ、土日利用が出来るかどうか、利用状況をみて配慮していきたいと思います」と答弁があった。

近隣施設（きさ安田パークゴルフ場）との料金比較

きさ	制度	河佐
子ども　300円 大人　600円	1日料金	子ども　500円 大人　1,000円
15,000円	年間利用券	子ども　4,500円 大人　9,000円
子ども　設定なし 大人　5,000円（11枚）	回数券	子ども　4,000円（10枚） 大人　8,000円（10枚）
子ども　通常料金 大人　400円	団体割引 10名から1日あたり	子ども　400円 大人　800円
設定なし	身障者割引	子ども　400円 大人　800円

※両施設とも子どもは、高校生以下が対象。きさ安田パークゴルフ場は地元の子どもは無料で利用できます。